

地球温暖化防止への取り組み

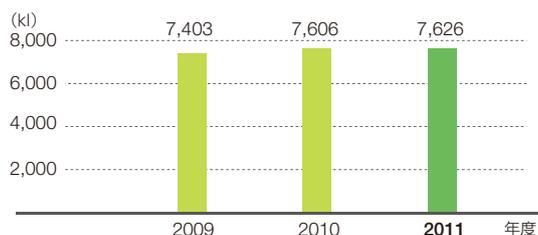
企業活動によって生じる温室効果ガスの削減だけでなく、温暖化防止の一助となるような塗料の開発にも取り組んでいます。

エネルギー使用量の推移

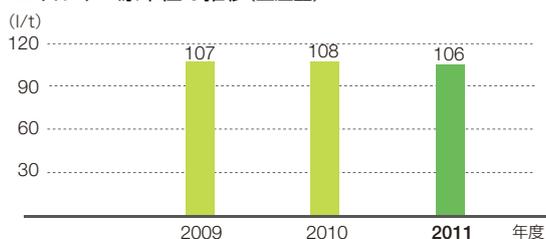
当社は、硬化乾燥時のエネルギー消費量を削減できる低温硬化形焼付塗料、夏季の室温上昇を抑制できる遮熱塗料などの商品を開発・提供しており、これらをご使用いただいた事業所でのエネルギー・CO₂排出量削減に寄与しています。当社の各事業所でも工場・倉庫の屋根に遮熱塗料を塗装し、効果を上げています。

2011年度は東京電力管内における電力削減要請を受け、那須事業所ではコージェネレーションやデマンドコントロールの活用を中心としたピーク時の電力削減を行いました。他の事業所においてもエアコンの設定温度アップ、間引き照明、自販機の停止などを実施し、全社規模で原単位におけるエネルギー使用量を削減しました。

● エネルギー使用量の推移(原油換算量)



● エネルギー原単位の推移(生産量)



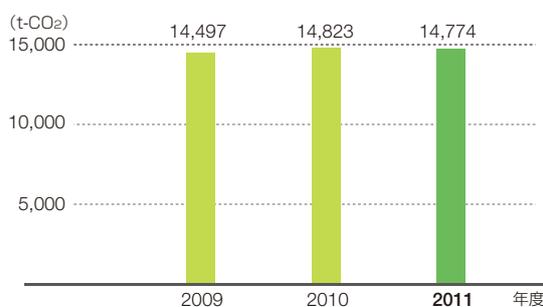
CO₂排出量の推移

炭酸ガス(CO₂)などの温室効果ガスの増加による温暖化によって、海面水位の上昇による土地の流失や砂漠化の進行、森林の喪失、生態系の破壊など、さまざまな影響が生じると考えられています。温暖化を防止するためには、私たちの生活や企業活動によって生じる温室効果ガスを削減することが大きな課題となっています。

2011年度は前年度と比較してCO₂発生量はほぼ横ばいの結果となりました。今後もEMS(環境マネジメントシステム)活動テーマに掲げ、エネルギーの適正使用とともにCO₂の削減に取り組めます。

また、建物の空調エネルギーの削減に伴う節電や都市部のヒートアイランド現象対策に大きな効果がある商品「エコクールシリーズ」に「カーボンオフセット」を付与しました。当社が購入した「CO₂排出権」は、風力発電などの自然エネルギー開発や植林事業による森林保護などに生かされています。

● CO₂排出量の推移



TOPICS

「緑のカーテン」で省エネに取り組む

当社のグループ会社であるシンロイヒ株式会社では、夏の節電・省エネ対策のひとつとして植物を建築物の外側に生育させ、建築物の温度上昇の抑制を図って省エネルギーを実現する「緑のカーテン」づくりに取り組みました。

これはゴーヤ、ヘチマ、アサガオ、ツルムラサキ、オカワカメなどの蔓植物を日光の当たる建物の壁面にネットなどを使用して育てるもので、「カーテン」が完成すると太陽熱の遮断、水分の蒸発による温度低下効果が期待できます。また省エネのほか視覚的にも涼感を提供してくれます。



緑のカーテン